

高知県内の犯罪概況

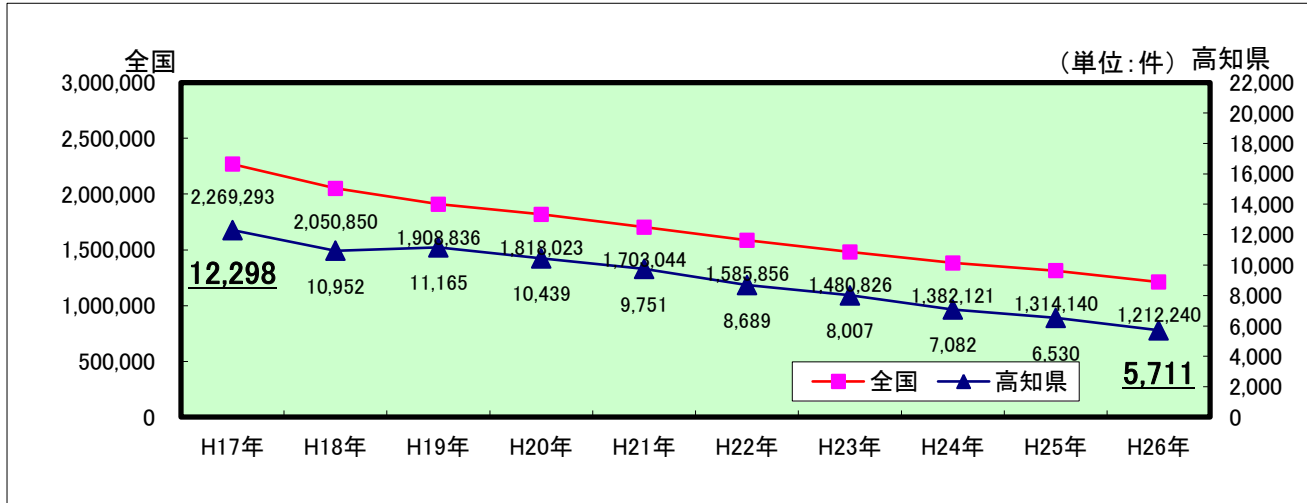
高知県安全安心まちづくり推進会議

平成27年2月4日

1 刑法犯認知(発生)件数

(1) 過去10年間の推移

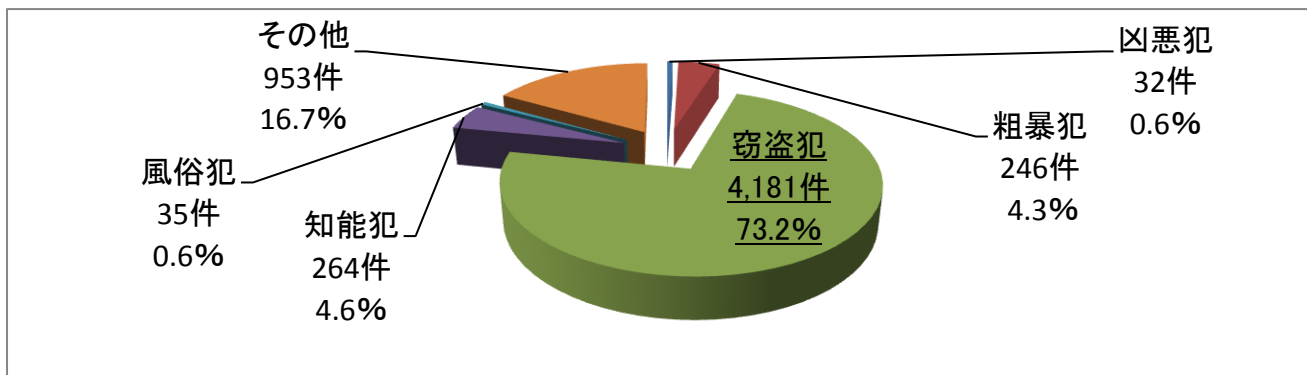
本県における平成26年中の刑法犯認知(発生)件数は5,711件で、平成17年から半数以下まで減少しており、犯罪統計を取り始めた昭和21年以降で最少を記録しました。



(2) 罪種別内訳

平成26年の刑法犯認知件数を罪種別に分けると、

- ①殺人、強盗等の凶悪犯 ②暴行、傷害、脅迫等の粗暴犯 ③窃盗犯
 - ④詐欺、横領等の知能犯 ⑤強制わいせつ、賭博等の風俗犯 ⑥その他の犯罪
- に大別されますが、発生は、圧倒的に窃盗犯が多く、刑法犯全体の約73%を占めています。



(3) 未成年者、高齢者の被害状況

平成26年中に発生した刑法犯のうち、未成年者(20歳未満)が被害を受けた数は1,155件で、刑法犯発生件数全体の20.2%、高齢者が被害を受けた数は823件で、全体の14.4%でした。

罪種別で見ると、高齢者は侵入盗の被害が多かったのに対し、未成年者は乗り物盗でした。

特殊詐欺など知能犯の被害は、未成年者は発生がほとんど無かったのに対し、高齢者は67件の被害があり、うち47件を女性が占めています。

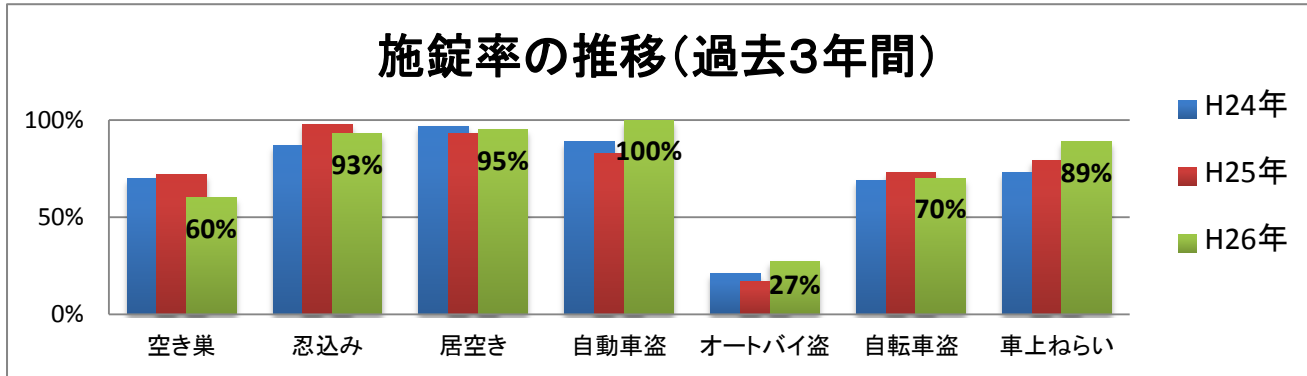
罪種	被害者の年齢	総数	0歳～19歳		65歳以上	
			うち) 女性	うち) 女性	うち) 女性	うち) 女性
刑法犯総数		5,711	1,155	454	736	335
凶悪犯		32	5	2	4	2
粗暴犯		246	60	29	17	6
窃盗犯		4,181	1,021	387	525	227
	侵入盗	534	6	3	175	88
	乗り物盗	1,637	819	319	99	39
	非侵入盗	2,010	196	65	251	101
知能犯		264	2	1	67	47
風俗犯		35	15	14	0	0
	賭博	0	0	0	0	0
	わいせつ	35	15	14	0	0
その他の刑法犯		953	53	21	123	53
	器物損壊等	702	19	2	84	36

単位: 件数

2 侵入盗・乗り物盗における施錠率

施錠を励行することで被害が防げる犯罪には、空き巣、忍込み、居空き、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、車上ねらいの7種類がありますが、このうち、空き巣とオートバイ盗以外の犯罪は、無施錠(無締まり)率が70%以上でした。

これらの犯罪は、施錠をしていれば被害に遭わなかった可能性は高く、また、侵入盗は強盗などの凶悪犯罪に繋がるおそれがあることから、県民に確実な施錠を呼びかける必要があります。



～平成26年の施錠状況～

	空き巣	忍込み	居空き	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	車上ねらい
無施錠率	60%	93%	95%	100%	27%	70%	89%
施錠あり(件)	62	5	1	0	107	442	33
施錠なし(件) (無締り)	94	65	18	5	39	1,044	273
計	156	70	19	5	146	1,486	306

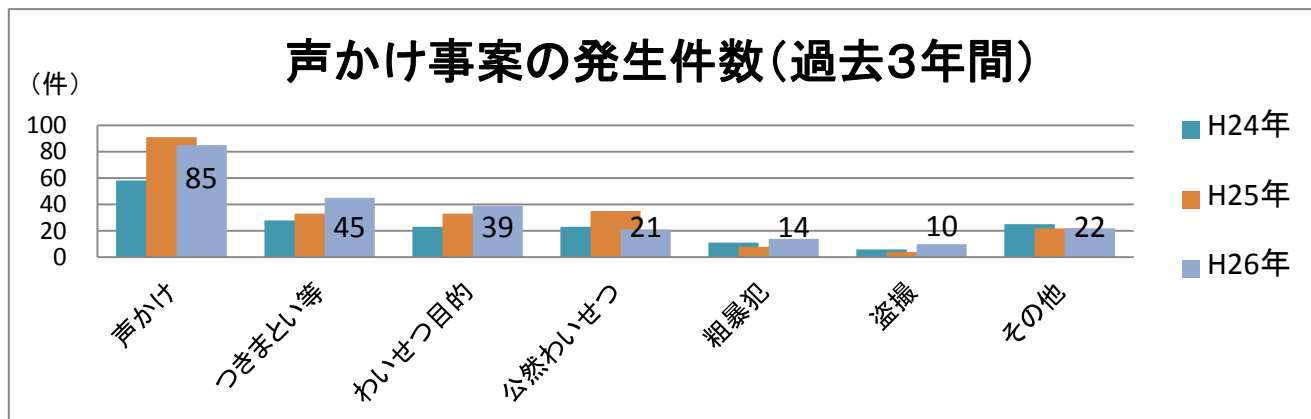
3 未成年者に対する声かけ事案の発生状況

(1) 未成年者(20歳未満)に対する声かけ事案は、平成25年が226件であったのが、平成25年は236件と、10件の増加となっています。

声かけ事案は、強制わいせつや誘拐の前兆事案でもあることから、引き続き警戒する必要があります。

(2) 平成26年の発生傾向を見ると、被害対象別では、「小学生」が最も多く、次いで高校生、中学生の順となっています。

下校時間帯や習い事に通う時間帯で多く発生しており、場所別では路上が最も多くなっています。



○時間別発生状況

H25年	登校中	下校中	その他	合計
高校生	16	42	21	79
中学生	4	28	11	43
小学生	8	51	41	100
その他	0	0	4	4
合計	28	121	77	226

H26年	登校中	下校中	その他	合計
高校生	13	33	22	68
中学生	11	20	17	48
小学生	15	43	52	110
その他	0	0	10	10
合計	39	96	101	236

○場所別発生状況

H25年	
路上	180
駐車場	8
公園	14
学校	4
駅	4
店舗内	5
その他	11
計	226

H26年	
路上	183
駐車場	8
公園	17
学校	1
駅	11
店舗内	10
その他	6
計	236